2-347-847-**06** (1)

デジタルパワードミキサー

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と SRP-X700P Manager/User Control Panel の取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ご注意

付属のCD-ROMには、SRP-X700Pの取扱説明書（日本語、英語、仏語、独語、西語、伊語、中国語）が収録されています。

SRP-X700P

Ver. 1.5

安全のために

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4〜5ページの注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

5年に1度くらいは、内部の点検について、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

万一、異常が起きたら

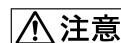
・煙が出たら
・異常な音、においがしたら

❶ **電源を切る。**
❷ **電源コードを抜く。**
❸ **お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に修理を依頼する。**

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

付属のソフトウェアについて

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。
- 本機に付属のソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。

目次

本機は付属のソフトウェアSRP-X700P Managerでパラメーター設定をしなくても使用できます。工場出荷時のパラメーターについては、16ページをご覧ください。

付属のCD-ROMについて

付属のCD-ROMには、2つのアプリケーションソフトSRP-X700P Manager、User Control Panelと、専用USBドライバソフト、コントロールソフトウェアマニュアルおよび本体の取扱説明書が収録されています。
コントロールソフトウェアマニュアルおよび本体の取扱説明書は、PDFファイルでCD-ROMに収録されています。
ご覧になるには、Adobe Acrobat® Readerがお手持ちのコンピューターにインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページ（http://www.adobe.co.jp/）からダウンロードしてください。

⚠警告

下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により
死亡や**大けが**につながることがあります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものを載せたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

本機は日本国内用です

交流100Vでお使いください。
海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

製品の上に乗らない、重い物を載せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

⚠注意 下記の注意を守らないと、**けが**をしたり
周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コード、接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コード、接続コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を十分にお確かめください。

転倒、移動防止の処置をする

大型の製品をラックに取り付け・取り外しするときは、転倒・移動防止の処置をしないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。安定した姿勢で注意深く作業してください。また、ラックの設置状況、強度を十分にお確かめください。

移動されるときは電源コード、接続コードを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

主な特長

オーディオミキサー、RGB/ビデオスイッチャー、プロセッサー、パワーアンプを3Uサイズに収めた多機能デジタルパワードミキサーです。

デジタルミキサー搭載

24bit/48kHzサンプリングのA/D、D/Aコンバーターと高性能DSPを搭載。一般のミキサーがもつ機能に加え、チャンネル独立のフィードバックリデューサーやオートマチックミキシングなど、デジタルならではの多機能を実現しました。

豊富なオーディオ入出力端子

6系統のマイク入力、2系統のステレオライン入力を10系統の出力に自由に出力できます。

RGB/コンポーネント信号に対応

コンポジット/Sビデオ入力を3系統、RGB/コンポーネント入力を3系統装備しています。これによりRGB、VIDEOスイッチャーを別に用意することなくシンプルなシステムを実現できます。コンポーネント信号は480p、1080i などのハイレゾリューション信号にも対応、RGBはSXGA（1280×1024ピクセル）に対応します。

省電力デジタルアンプを搭載

150W+150W（8Ω）、200W+200W（4Ω）のパワーアンプを搭載。従来比約2/3の定格消費電力を実現しています。またハイインピーダンススピーカー 150W（70V LINE 32Ω）にも対応しています。

5.1ch対応のオーディオ入力

LINE4 INPUT端子の4D, 4E入力は5.1ch入力に対応。

便利な外部リモート端子

- **RS-232C端子を装備**
  外部コンピューターやシステムコントローラーから本機の操作がおこなえます。また、ソニー製プロジェクターやプラズマディスプレイの電源ON/STANDBYや入力の切り換えがおこなえます。
- **コントロールS出力端子を装備**
  ソニー製AV機器の基本操作（再生、停止、早送り、巻戻しなど）がおこなえます。
- **パラレル入出力端子を装備**
  入力端子では本機の入力切換、音量調整、シーンリコールなどが、出力端子ではスクリーンや照明機器などの環境機器の操作、本機の状態表示などがおこなえます。

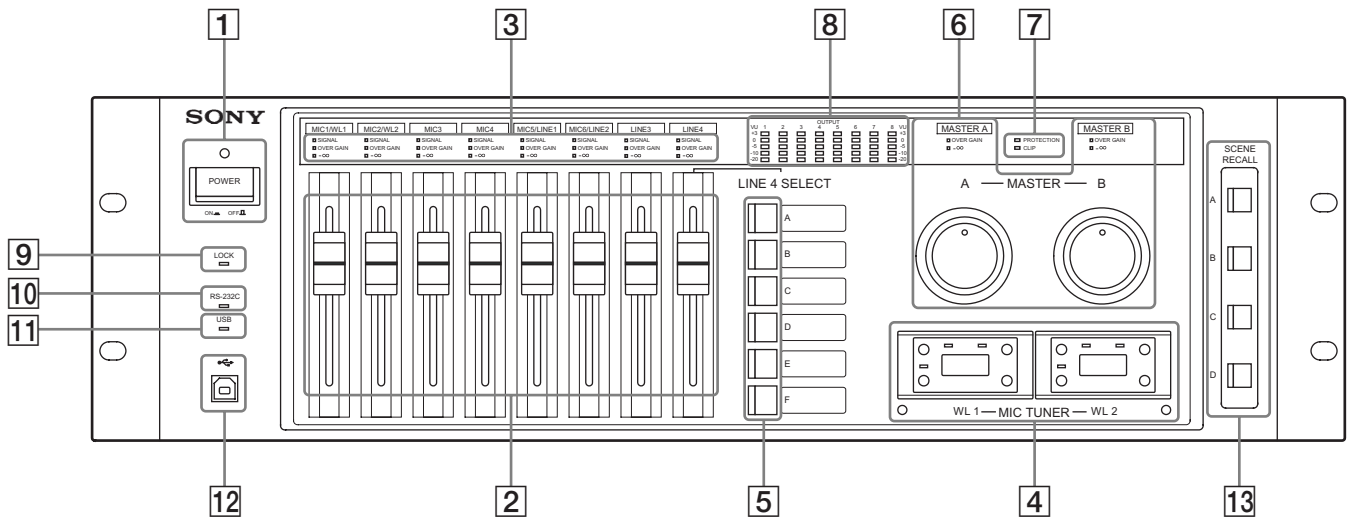
800MHz帯ワイヤレスチューナーユニットWRU-806（別売）を2台装着可能

EIA規格19インチラックにマウント可能（3Uサイズ）

付属のソフトウェアにより設定・操作が可能

本機の基本操作（音量調整、入力切換、シーンリコール）とソニー製DVD/VTR/CD/MDなどの基本操作（再生、停止、早送り、巻戻しなど）を外部コンピューターから集中しておこなえるUser Control Panelと、本機の内部設定をおこなうSRP-X700P Managerを付属のCD-ROMに収録。

各部の名称と働き

前面

1 POWER(電源)ボタンと電源表示インジケーター
押すと電源が入ります。電源がオンのときに、電源表示インジケーターが緑に点灯します。
SRP-X700P Managerの設定により、接続しているプロジェクターやディスプレイを本機と連動して電源オン、電源スタンバイすることができます。
工場出荷時、プロジェクター、ディスプレイの電源は本機と連動するよう設定されています。
本機の電源をオンにするとCONTROL S OUTPUT1～4端子に接続されているAV機器の電源をオンにします。ただし、電源オフのときはAV機器の電源スタンバイはおこないません。

2 インプットフェーダー
- MIC1/WL1, MIC2/WL2フェーダー
  MIC1/WL1, MIC2/WL2入力端子の信号レベルを調整します。
  ワイヤレスマイクか有線マイクのどちらかを使用する事ができます。ワイヤレスチューナーが信号を受信すると自動的にワイヤレスマイクが選択されます。
- MIC3, MIC4フェーダー
  MIC3/MIC4入力端子の信号レベルを調整します。
- MIC5/LINE1, MIC6/LINE2フェーダー
  MIC5/LINE1, MIC6/LINE2入力端子の信号レベルを調整します。裏面のMIC/LINE切り換えボタンにより基準入力レベルの切り換えがおこなえます。
  工場出荷時はLINEに設定されています。
- LINE3, LINE4フェーダー
  LINE3, LINE4入力端子の信号レベルを調整します。

インプットフェーダーはムービングタイプではありません。

3 インプットインジケーター
- SIGNALインジケーター
  各入力端子に信号が入力されると緑に点灯します。
- OVER GAINインジケーター
  入力レベルがSRP-X700P Managerで設定したGAIN LIMITの値を超えたときに赤く点灯します。
  工場出荷時、GAIN LIMITは10dBに設定されています。
- −∞インジケーター
  ミューティング中や入力フェーダーが−∞レベルの位置にあるときなど音が出ないときに黄色く点灯します。

4 チューナーユニット用スロット(WL1/2)
800MHz帯ワイヤレスチューナーユニットWRU-806(別売)を装着するスロットです。2台まで装着できます。(装着方法については7ページをご覧ください。)
チューナーユニットの取扱については、WRU-806の取扱説明書もよくお読みください。

5 LINE 4 SELECTボタン
LINE 4A～4F入力端子に接続された機器を選択します。

6 マスターボリューム
グループ化されたフェーダーを操作するボリュームです。
操作するフェーダーはSRP-X700P Managerで設定します。
工場出荷時、MASTER AにはMIC1～MIC4、MASTER BにはMIC5/LINE1～LINE4の入力フェーダーが設定されています。
マスターボリュームはムービングタイプではありません。
- OVER GAINインジケーター
  信号レベルがSRP-X700P Managerで設定したGAIN LIMITの値を超えたときに赤く点灯します。
  工場出荷時、GAIN LIMITは10dBに設定されています。
- −∞インジケーター
  ミューティング中やフェーダーが−∞レベルの位置にあるときなど音が出ないときに黄色く点灯します。

7 パワーアンプインジケーター

・PROTECTIONインジケーター
内蔵パワーアンプの保護回路が動作したときに、赤く点灯します。

・CLIPインジケーター
内蔵パワーアンプの出力レベルが過大で、信号が歪んだときに赤く点灯します。

ご注意

PROTECTIONインジケーターが点灯したら

次のような場合は、保護回路が動作して(PROTECTIONインジケーターが点灯)、出力信号を下げる、またはカットすることによって、スピーカーやアンプを保護します。

・アンプ内部の放熱器の温度が規定値を超えた場合。
接続したスピーカーのインピーダンスが低すぎる場合。
空気吸排気孔(本体左右側面)がほこりによりふさがれている場合。

・SPEAKERS端子をショートした場合。
このような場合はPOWERボタンをOFFにし、原因を取り除いた後にご使用ください。

・故障によりDC(直流電圧)がSPEAKERS端子に現れた場合。
POWERボタンをOFFにしたのち、お買い上げ店または添付の「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるお近くのサービス窓口にご相談ください。

8 レベルメーター

LINE OUTPUT1～8端子の出力信号レベルを5ポイントLEDにて表示します。

9 LOCKインジケーター

SRP-X700P Managerから本体前面のLOCKをおこなうと赤く点灯します。点灯中は誤操作防止のため、本体前面からの操作はできません。

10 RS-232Cインジケーター

REMOTE RS-232C端子にてコマンド送受信がおこなわれているときに緑に点灯します。

11 USBインジケーター

USB端子またはREMOTE USB端子にてコマンド送受信がおこなわれているときに緑に点灯します。

12 USB端子

付属のソフトウェア(SRP-X700P Manager、User Control Panel)をインストールしたコンピューターと接続するための端子です。

13 SCENE RECALLボタン

シーンメモリーA～Dの呼び出しをおこないます。
A～Dに割り当てるシーンはSRP-X700P Managerで設定できます。
工場出荷時、AにはシーンNo.1、BにはシーンNo.2、CにはシーンNo.3、DにはシーンNo.4が設定されています。

チューナーユニット

チューナーユニットの装着方法

1 本機の電源を切ります。
2 チューナーカバーをはずします。
3 チューナーユニットの上下面を確認して、スロットに差し込みます。(図1)

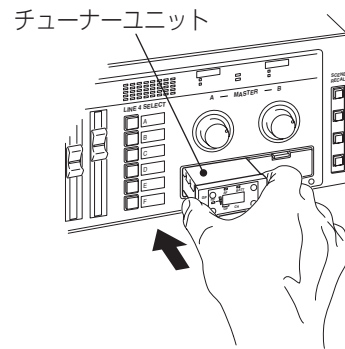



図1

4 本機の電源を入れ、別紙「WRU-806チャンネル設定方法」に従って、グループとチャンネルを設定します。グループとチャンネルは使用するワイヤレスマイクと同じにします。
5 ワイヤレスマイクの電源スイッチをONにして、受信状態になっていることを確認します。
正常に受信すると、チューナーユニットのRFインジケーターが点灯します。マイクの設定チャンネルがチューナーユニットの設定と異なっているときや、マイクの電池が消耗しているときは、チューナーユニットのRFインジケーターは点灯しません。

チューナーユニットの取り外し方法

1 本機の電源を切ります。
2 チューナースロット下方の穴にシャフト径2～4mm以内、シャフト長30mm以上のドライバーを差し込み、チューナーユニットを取り出します。(図2)

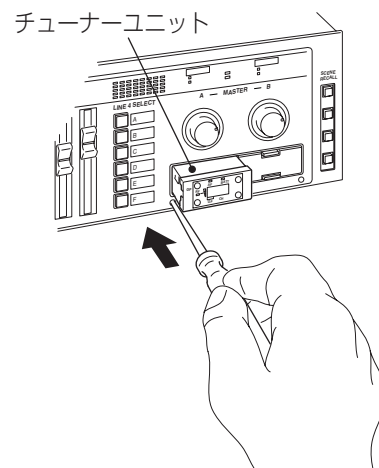



図2

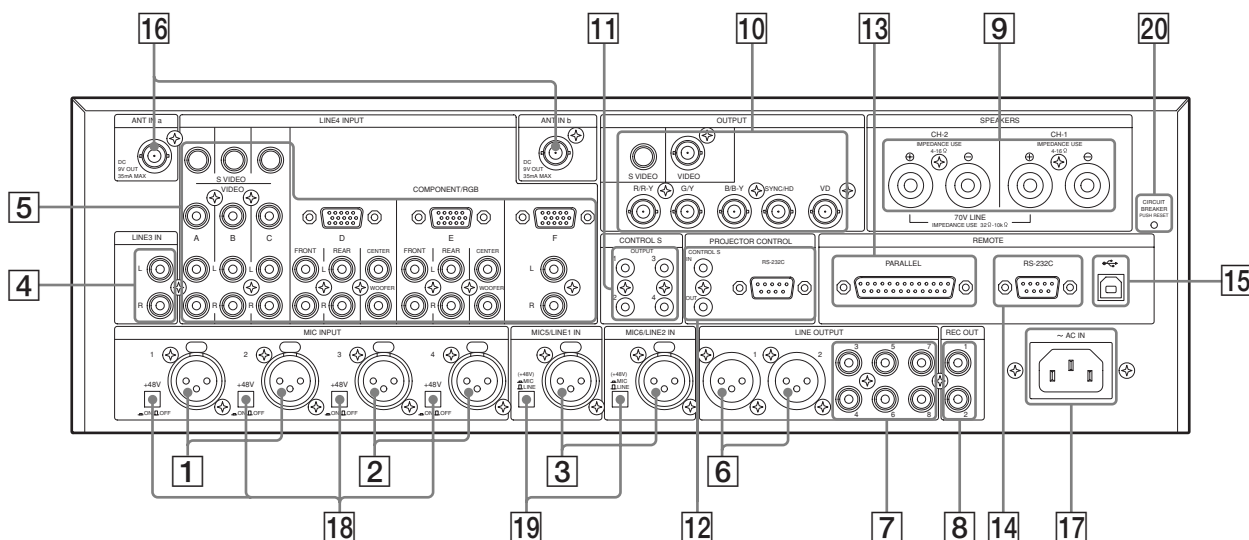
ご注意

装着するときは奥までしっかりと差し込んでください。電源がONのときはチューナーユニットの取り付け・取り外しは絶対におこなわないでください。ノイズの原因となります。

⚠注意

チューナースロット内部に手を入れないでください。

各部の名称と働き

裏 面

1 MIC INPUT 1, MIC INPUT 2端子

マイク用の入力端子です。
チューナーユニット装着時はワイヤレスマイク優先ですが、ワイヤレスマイクの電源をONにするまで、ワイヤードマイクが使用できます。

2 MIC INPUT 3, MIC INPUT 4端子

マイク用の入力端子です。

3 MIC5/LINE1 IN, MIC6/LINE2 IN端子

マイク、ライン用の入力端子です。
この入力端子は 19 MIC/LINE切り換えボタンで入力レベルを切り換えることができます。マイクレベルが選択されると、コンデンサマイクロホン用のDC+48V電源が自動的に出力されます。
工場出荷時はLINE(ㅁ)に設定されています。

4 LINE3 IN端子

オーディオ機器用の入力端子です。

5 LINE4 INPUT端子

AV機器用の入力端子です。
映像信号は各チャンネルごとにコンポジット信号とSビデオ信号、またはコンポーネント信号とRGB信号のいずれかをSRP-X700P Managerで設定します。

・ 4A, 4B, 4C入力端子
コンポジット信号、Sビデオ信号の映像入力端子とステレオ音声入力端子です。
工場出荷時はCOMPOSITE信号で–10dBuに設定されています。

・ 4D, 4E入力端子
コンポーネント信号とRGB信号の映像入力端子と5.1サラウンド音声入力端子です。
工場出荷時、4DはCOMPONENT信号で–10dBu、4EはRGB信号で–10dBuに設定されています。

・ 4F入力端子
コンポーネント信号とRGB信号の映像入力端子とステレオ音声入力端子です。
工場出荷時はRGB信号で–10dBuに設定されています。

<LINE4 INPUT COMPONENT/RGB端子>

(HD D-sub 15ピン、凹)

ピン番号	機能	ピン番号	機能
1	映像入力 R/R-Y	9	N.C
2	映像入力 G/Y	10	接地
3	映像入力 B/B-Y	11	N.C
4	接地	12	N.C
5	N.C	13	複合同期信号/水平同期信号 SYNC/HD
6	接地		
7	接地	14	垂直同期信号 VD
8	接地	15	N.C

6 LINE OUTPUT 1, 2端子

音声出力端子です。

7 LINE OUTPUT 3〜8端子

音声出力端子です。

8 REC OUT端子

音声出力端子です。
主にMD等を接続し録音に使用します。

9 SPEAKERS端子

内蔵パワーアンプ出力端子です。
ハイインピーダンススピーカー(70V LINE)も接続できます。(70V LINE時はモノラル出力になります。)出力する信号および動作モードはSRP-X700P Managerで選択します。
工場出荷時、動作モードはLo imp.、出力する信号はLINE OUT1、LINE OUT2に設定されています。接続については12ページのスピーカーとの接続をご覧ください。

⑩ 映像出力端子

前面のLINE 4 SELECTボタンで選択された映像信号が出力されます。映像信号方式は変換されません。

- **5BNC出力端子**
  RGB信号とコンポーネント信号の出力端子です。
- **VIDEO端子**
  コンポジット信号の出力端子です。
- **S VIDEO端子**
  Sビデオ信号の出力端子です。

⑪ CONTROL S OUTPUT 1～4 端子

LINE3 IN端子, LINE4 INPUT端子に接続されたAV機器をリモートコントロールするための端子です。

ご注意

LINE3 IN端子に接続されたAV機器は、付属のソフトウェアUser Control Panelからは操作できません。

ソニー製DVD/VTR/CD/MD/オーディオ用CD-Rの再生、停止、早送り、巻き戻し等の基本操作ができます。また各端子ごとに接続方法をワイヤード接続かワイヤレス接続かをSRP-X700P Managerにて選択します。

⑫ PROJECTOR CONTROL端子

映像出力端子に接続されたプロジェクターやプラズマディスプレイを制御する端子です。

工場出荷時はRS-232C接続でVPL-FX50を使用する設定がされています。

- **RS-232C端子**
  RS-232C端子を装備したプロジェクターやプラズマディスプレイをRS-232Cで制御する端子です。
- **CONTROL S IN/OUT端子**
  RS-232C端子をもたないプロジェクターをCONTROL Sで制御する端子です。
  CONTROL S OUT端子を使用し、プロジェクターを操作する場合はコンポーネント信号とRGB信号の混在使用はできません。

⑬ REMOTE PARALLEL端子

INPUT 12本、OUTPUT 10本のパラレルリモート端子です。INPUTは外部からの本機の制御、OUTPUTは本機からの外部機器のリモートコントロールに使用します。各端子の機能は付属のソフトウェア SRP-X700P Managerにより選択します。

⑭ REMOTE RS-232C端子

RS-232Cのリモート端子です。

外部のコントローラーなどを接続し、本機をリモートコントロールします。

⑮ REMOTE USB端子

付属のソフトウェア(SRP-X700P Manager、User Control Panel)をインストールしたコンピューターと接続するための端子です。

ただし、前面のUSB端子を使用中は、前面のUSB端子が優先されます。

⑯ ANT IN端子

ワイヤレスチューナー用のアンテナ入力端子です。

UHFアンテナはAN-820(別売)を接続してください。

この端子はアンテナのブースター用電源9Vを出力しています。上記以外のアンテナを接続するとうまく動作しなかったり、故障の原因となることがあります。

ご注意

アンテナの設置・接続は、アンテナに付属の取扱説明書をよくお読みのうえ、おこなってください。

アンテナの設置が不適当な場合、音声が途切れるなどの受信不良の原因となることがあります。特にアンテナ取付後、取付場所の変更が容易にできない場合は、事前に充分な動作確認をおこなったうえで取り付けてください。

接続にはインピーダンス50Ωの同軸ケーブルをお使いください。5D-FBで約50mまで配線できます。5C-2Vなど75Ω系のものは配線長が半減したり、トラブルの原因になることがあります。

雑音が発生するときは

設置場所によっては、外来雑音や妨害電波などの影響で雑音が発生し、使用できないチャンネルが生じることがあります。

このような場合は、使用チャンネルを設定するときに、ワイヤレスマイクロホンやトランスミッターの電源をOFFにしたままチューナーユニットのチャンネルを切り換え、RFインジケーターが点灯していないチャンネル(雑音や妨害電波の影響を受けていないチャンネル)を選択して使用してください。ワイヤレスマイクロホンやトランスミッター側も、同じチャンネルに設定してください。

⑰ AC IN端子

付属の電源コードを接続します。

⑱ +48Vボタン

MIC INPUT1～4端子にコンデンサマイクロホン用のDC+48V電源を供給するボタンです。このボタンをON(▬)にするとDC+48Vが出力されます。

工場出荷時はOFF(⊓)に設定されています。

⑲ MIC/LINE切り換えボタン

MIC5/LINE1 IN, MIC6/LINE2 IN端子の入力レベルを切り換えるボタンです。(P.19参照)

また、このボタンを(+48V)MIC(▬)にすると、コンデンサマイクロホン用のDC+48V電源が自動的に出力されます。

工場出荷時はLINE(⊓)に設定されています。

ご注意

- ⑱+48Vボタンと⑲MIC/LINE切り換えボタンは誤操作防止のため、リアパネル面より押し込んだ状態がONになります。
- ケーブルを抜き挿しする場合や、+48Vボタン、MIC/LINE切り換えボタンなどを切り換えるときは、必ずインプットフェーダーを全て絞るか、電源OFFの状態でおこなってください。

⑳ CIRCUIT BREAKER

本機の電源に過大な電流が流れた時、サーキットブレーカーが作動し、電源を切ります。

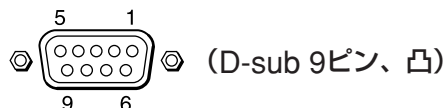
サーキットブレーカーが作動したら、お買い上げ店または添付の「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるお近くのサービス窓口にご相談ください。

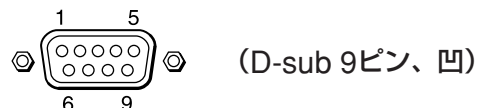
本機からディスプレイ機器を制御するには

本機に対応するプロジェクターについては、別紙「プロジェクター対応一覧表」をご覧ください。

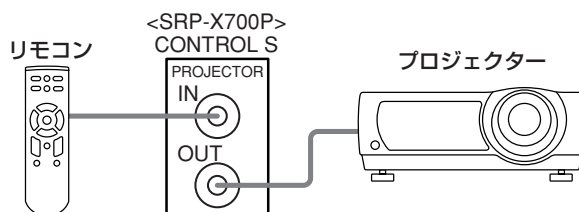
PROJECTOR CONTROL RS-232C端子

プロジェクターやプラズマディスプレイをRS-232C端子に接続するには

本機の動作に連動してプロジェクターやプラズマディスプレイの電源ON/STANDBYと入力信号の切り換えをおこないます。

<ソニー製プロジェクター/プラズマディスプレイ側>

ピン番号	信号	機能
1	FG	フレーム接地
2	RD	受信データ
3	TD	送信データ
4	ER	未接続
5	SG	信号線グランド
6	DR	未接続
7	RS	未接続
8	CS	未接続
9	N.C	未接続

ピン番号	信号	機能
1	FG	フレーム接地
2	RX DA	受信データ
3	TX DA	送信データ
4	DTR	データ端末レディ
5	GND	接地
6	DSR	データセットレディ
7	RTS	送信要求
8	CTS	送信許可
9	RI	被呼表示

PROJECTOR CONTROL CONTROL S IN/OUT端子

本機の動作に連動してプロジェクターの電源ON/STANDBYと入力信号の切り換えは、自動的におこなわれます。この場合、RGB信号とコンポーネント信号の混在使用はできません。
また、CONTROL S IN端子にプロジェクター付属のワイヤードリモコンを接続することで、本機を通してプロジェクターの設定等をおこなうことができます。
電源供給の関係上、接続はステレオミニプラグ付きコードを製作してご使用ください。ワイヤードリモコンを電池でお使いの場合は、ミニプラグ付きコードをご使用ください。

本機を外部から制御するには

ご注意

USB端子およびREMOTE USB端子はSRP-X700P ManagerとUser Control Panel から本機を制御するための専用端子です。

REMOTE RS-232C端子

外部コントローラーから本機を制御するための端子です。

端子形状　：D-sub 9ピン、凸　インチネジタイプ
電気的仕様　：RS-232C規格準拠
推奨ケーブル　：データ通信用多芯シールドケーブル
ケーブル長　：15m以下

通信フォーマット
ボーレート　：9600bps
ビット長　：8ビット
ストップビット　：1ビット
パリティー　：ODD（奇数）

ピン番号	信号	機能
1	FG	フレーム接地
2	RD	受信データ
3	TD	送信データ
4	ER	未接続
5	SG	信号線グランド
6	DR	未接続
7	RS	未接続
8	CS	未接続
9	N.C	未接続

ご注意

コンピューターと接続するときにはクロスケーブルを用いてください。

REMOTE PARALLEL端子

外部に簡単な回路を接続することにより、リモートコントロールをおこなうための端子です。

端子形状　　　：D-sub 25ピン、凹
推奨ケーブル　：データ通信用多芯シールドケーブル
ケーブル長　　：50m以下

INPUT端子

各端子の機能は付属ソフトSRP-X700P ManagerのREMOTE画面からPARALLEL INPUT FUNCTION設定ボックスで設定します。

図のような可変抵抗器を接続することにより0〜−∞dBの範囲で全てのフェーダーやボリュームのリモートコントロールが可能です。

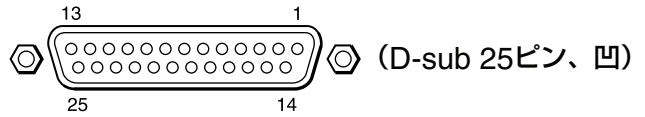
メイク接点により下記の操作が可能です。

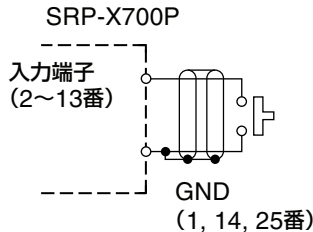
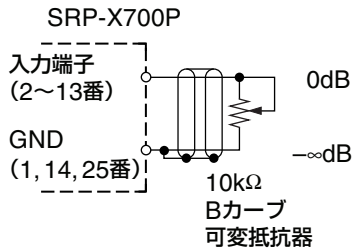
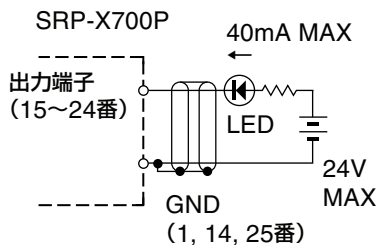
- ・ LINE4の入力選択
- ・ ミューティング
- ・ シーンリコール
- ・ 音量調整（Up/Down）
- ・ CONTROL S端子に接続されているAV機器の制御
- ・ プロジェクターの電源ON/STANDBY

OUTPUT端子

各ピンのON条件は下記より選択できます。

- ・ LINE4の入力セレクターの状態
- ・ OVER、−∞インジケーターの点灯
- ・ シーンリコールボタンのON
- ・ プロジェクターの電源ON/STANDBY命令の発生

ON条件の選択は付属ソフトSRP-X700P ManagerのREMOTE画面からPARALLEL OUTPUT FUNCTION設定ボックスで設定します。

ピン番号	機能
1	GND
2	INPUT1
3	INPUT2
4	INPUT3
5	INPUT4
6	INPUT5
7	INPUT6
8	INPUT7
9	INPUT8
10	INPUT9
11	INPUT10
12	INPUT11
13	INPUT12
14	GND
15	OUTPUT1
16	OUTPUT2
17	OUTPUT3
18	OUTPUT4
19	OUTPUT5
20	OUTPUT6
21	OUTPUT7
22	OUTPUT8
23	OUTPUT9
24	OUTPUT10
25	GND

＜入力回路の例＞

＜出力回路の例＞

ご注意

- ・出力端子に逆電圧はかけないでください。
- ・リモート線のシールドおよびGND線を中継板等へ接続しないでください。誤動作、ノイズ等の原因となります。
- ・リモート線は必ず調光器、電動機等を避けて配線してください。
- ・プロジェクターの電源ON/STANDBYを操作するとき、PARALLEL入力端子がONの場合はプロジェクターの電源をオンに、OFFの場合はプロジェクターの電源をスタンバイにしますので、オルタネイト形のスイッチをお使いください。

本機からAV機器を制御するには

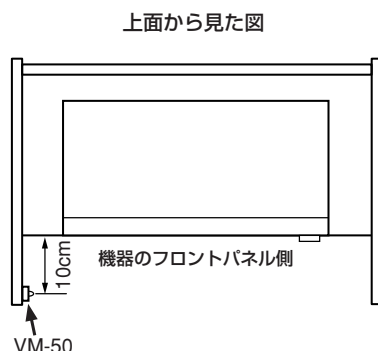
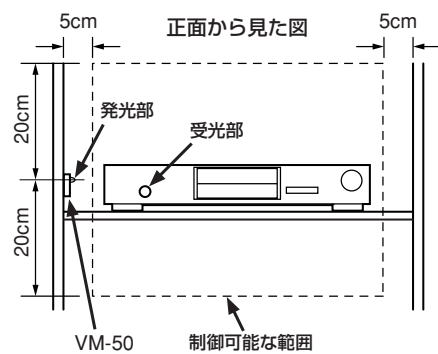
CONTROL S OUTPUT1～4端子に接続しているソニー製機器の制御をおこなうことができます。SRP-X700P Manager上のMACHINE CONTROLの設定方法および操作可能なファンクションは下表のとおりです。
ただし、付属のソフトウェアSRP-X700P ManagerおよびUser Control Panelでは誤操作防止のため、REC、POWER ON、POWER STANDBYをおこなうことができません。

MACHINE TYPE	対応機器	操作								
		PREV.	NEXT	STOP	REW.	PLAY	F.F.	PAUSE	REC	POWER ON/ STANDBY
DVD＊1	DVDプレーヤー DVDレコーダー＊2	○	○	○	○	○	○	○	—	○
VTR1 (Beta)	ベータマックス	—	—	○	○	○	○	○	○	○
VTR2 (8mm)	8mmビデオ	—	—	○	○	○	○	○	○	○
VTR3 (VHS)	VHSビデオ	—	—	○	○	○	○	○	○	○
VTR4 (DV)	デジタルビデオ	—	—	○	○	○	○	○	○	○
CD	CDプレーヤー	○	○	○	○	○	○	○	—	○
MD	MDレコーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CD-R	オーディオ用CD-R	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Blu-ray Disc＊3	ブルーレイディスクレコーダー＊2	○	○	○	○	○	○	○	—	○
Inst. VTR	業務用VTR（DVCAMなど）＊4 ネットワークプレーヤー＊5	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Cassette Deck	カセットデッキ＊6	—	—	○	○	○	○	○	○	○

＊1　お使いのデッキのリモコンモードをDVD1に設定してください。
＊2　DVDレコーダーおよび、ブルーレイディスクレコーダーのRec機能のコントロールには対応しておりません。
＊3　お使いのデッキのリモコンモードをBD1に設定してください。
＊4　DSRシリーズのコントロールS端子を用いて制御する場合は、Inst. VTRを選択してください。また、AVマウスVM-50（別売）を用いて制御する場合は、VTR4（DV）を選択してください。
＊5　ネットワークプレーヤー（NSP-100）は、プレイボタンワンタッチ再生に設定されたプレイリストのPlay、Pause、Stopのみが可能です。
＊6　ダブルカセットデッキをご使用の場合、デッキBのみコントロール可能です。

コントロールS入力端子をもたないソニー製機器はAVマウス VM-50（別売）を用いて制御します。

・制御したい機器のリモコン受光部位置を確認し、下図のようにAVマウスVM-50（別売）を両面テープで固定します。

設置条件

VM-50をラックの内側に設置し、発光部から受光部を10cm程度後ろに下げ、上下20cm以内で、左右5cm以上離れた位置（図の点線部分）に機器の受光部が来るように設置してください。

ご注意

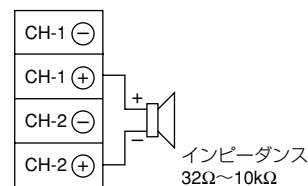
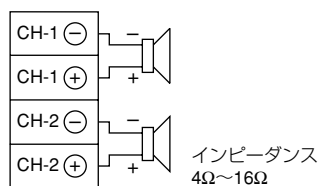
発光部と機器の受光部の間に棚板等の遮蔽物があると赤外線が遮られ、制御できなくなります。

・SRP-X700P ManagerまたはUser Control Panelを操作して、制御できることを確認します。
　制御できないときは制御できる位置にAVマウスVM-50を移動してください。

スピーカーとの接続

本機へのスピーカー接続方法は動作モードによって異なります。
70V LINE時はモノラル出力になりますので、スピーカーの＋端子をSPEAKERS CH-1の＋端子（赤色）、スピーカーの－端子をSPEAKERS CH-2の＋端子（赤色）へ接続します。

・ローインピーダンス［Lo imp.］時

・ハイインピーダンス［70V LINE］時

ハイインピーダンス［70V LINE］時に接続できるスピーカーの数は下表のとおりです。

インピーダンス	スピーカー1個あたりに加わる電力	接続可能個数
1kΩ	5W	30
3.3kΩ	1.5W	100
10kΩ	0.5W	300

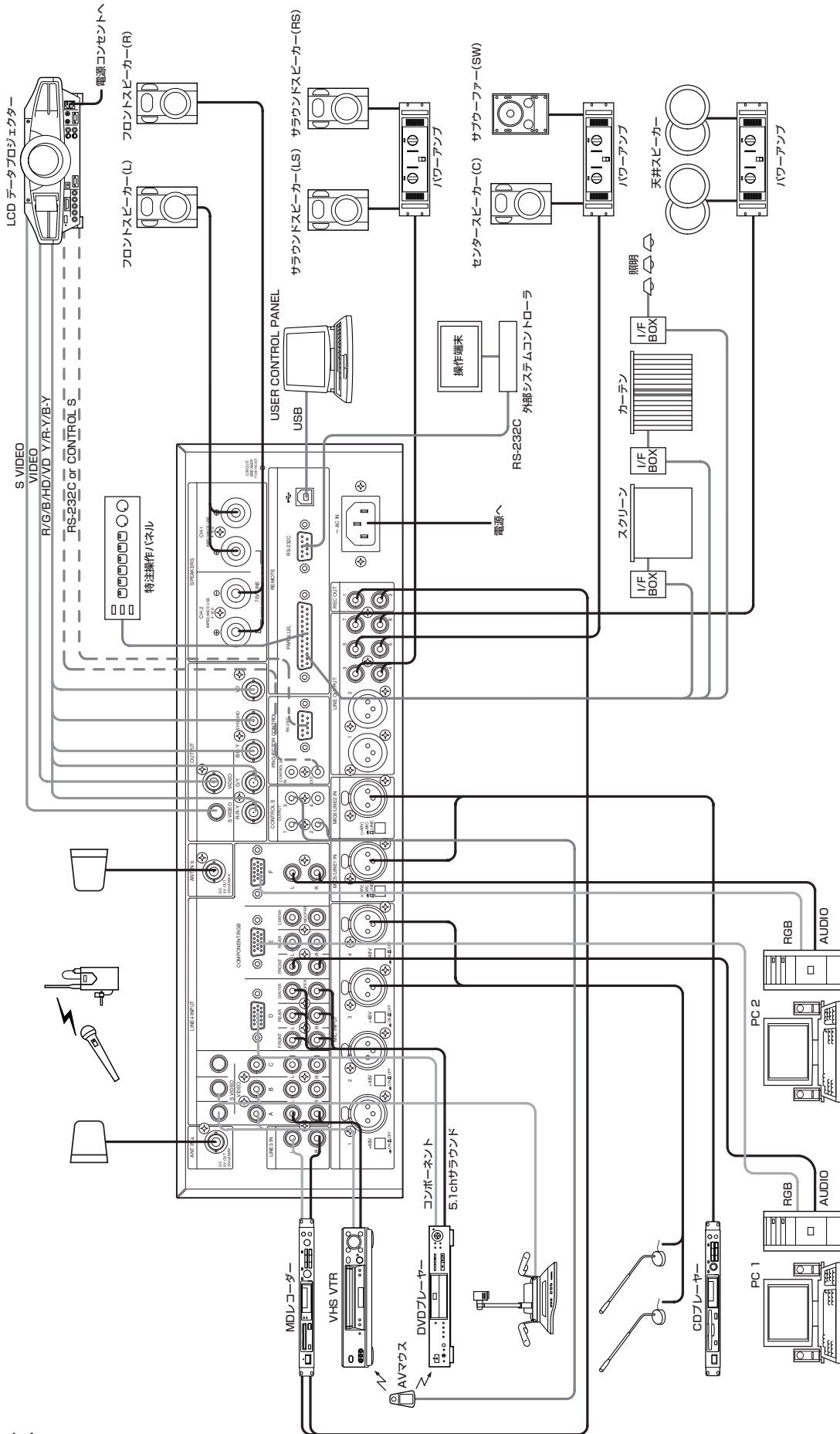
※［　］内の表記はSRP-X700P Managerで表示されるものです。

システム図

工場出荷設定を使用したシステム例

・本システムは工場出荷状態のSRP-X700Pを使用し実現できるシステムです。付属のソフトウェアSRP-X700P Managerから設定変更をすることなくご使用いただけます。
・付属のソフトウェアUser Control PanelからVHS、DV、DVDの制御、LINE4 INPUT端子のチャンネル選択、マイクおよびAV機器の音量調整をおこなうことができます。（CD、MDは制御できません。）
・本体前面からはVHS、DV、DVDの制御はできません。
・本システムはUHFシンセサイザーチューナーユニットWRU-806(別売)を2台使用します。
・MIC3, 4にエレクトレットコンデンサーマイクロフォンを使用する場合には、該当チャンネルの+48VボタンをONにしてください。
・プロジェクターはVPL-FX51をRS-232C接続して使用します。
・AVマウス VM-50(別売)は、本体もしくはラック内で受光部を狙える位置に取りつけてください。VM-50の設置については12ページの「本機からAV機器を制御するには」をご覧ください。
・VHS、DVにリモコンモードの切り換えが可能な機種を使用する場合、リモコンモードをVHSはVTR3、DVはVTR4に設定してください。

システム図

特注操作パネル・環境機器等を接続したシステム例

・3通りの方法(User Control Panel､特注操作パネル、外部システムコントローラー)で本機をリモートコントロールできます。

・外部システムコントローラーから本機に対しコマンドを送信することにより、SRP-X700P本体およびSRP-X700Pに接続された機器をコントロールできます。
（システムコントローラー用のソフトウェアは別途必要となります。）

・コントロールSで制御するプロジェクターを使用する場合、RGB信号機器とコンポーネント信号機器を混在使用することはできません。
DVD等のコンポーネント出力機器はLINE4 INPUT端子の4A~4C入力を使用しVIDEO又はS VIDEO接続してください。

・本システムはUHFシンセサイザーチューナーユニットWRU-806(別売)を2台使用します。

・MIC3, 4にエレクトレットコンデンサーマイクロフォンを使用する場合には、該当チャンネルの+48VボタンをONにしてください。

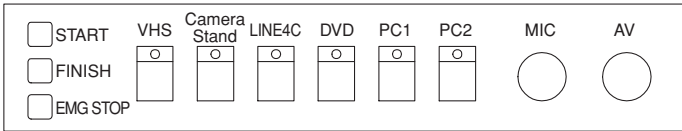
・AVマウス VM-50(別売)は、本体もしくはラック内で受光部を狙える位置に取りつけてください。VM-50の設置については12ページの「本機からAV機器を制御するには」をご覧ください。

・REMOTE PARALLEL出力端子でスクリーン、カーテン、照明等の環境機器を制御する場合は別途インターフェースBOX(I/F BOX)が必要になります。

・特注操作パネル、インターフェースBOX(I/F BOX)については15ページの「REMOTE PARALLEL端子を使った制御例」をご覧ください。

REMOTE PARALLEL端子を使った制御例

SRP-X700PのREMOTE PARALLEL端子の工場出荷時の設定は、以下のような特注操作パネルを想定してあります。

START FINISH EMG STOP VHS Camera Stand LINE4C DVD PC1 PC2 MIC AV

STARTボタン（SCENE No.1リコール）：OUTPUT7,9をONにしてスクリーンを下ろし、カーテンを閉め、照明を暗くしてプレゼンテーションを開始します。
FINISHボタン（SCENE No.2リコール）：OUTPUT8,10をONにしてスクリーンを上げ、カーテンを開け、照明を明るくしてプレゼンテーションを終了します。
EMG STOPボタン（SCENE No.3リコール）：OUTPUT7〜10をOFFにしてスクリーン、カーテンの動作を停止、照明を明るくします。
セレクタ部：LINE4 INPUT端子のA〜F入力を切り換えます。
MICボリューム：マイクの音量を調整します。
AVボリューム：AV機器の音量を調整します。

SRP-X700P REMOTE PARALLEL端子
D-Sub 25pin

ピン番号	端子名	機能名
1	GND	GND
2	INPUT1	VHS選択
3	INPUT2	CAMERA選択
4	INPUT3	LINE4C選択
5	INPUT4	DVD 選択
6	INPUT5	PC1選択
7	INPUT6	PC2 選択
8	INPUT7	START
9	INPUT8	FINISH
10	INPUT9	EMG STOP
11	INPUT10	MIC音量
12	INPUT11	AV機器音量
13	INPUT12	———
14	GND	GND
15	OUTPUT1	VHS選択タリー
16	OUTPUT2	DV選択タリー
17	OUTPUT3	CAMERA選択タリー
18	OUTPUT4	DVD選択タリー
19	OUTPUT5	PC1選択タリー
20	OUTPUT6	PC2選択タリー
21	OUTPUT7	スクリーン降
22	OUTPUT8	スクリーン昇
23	OUTPUT9	カーテン閉/照明 暗
24	OUTPUT10	カーテン開/照明 明
25	GND	GND

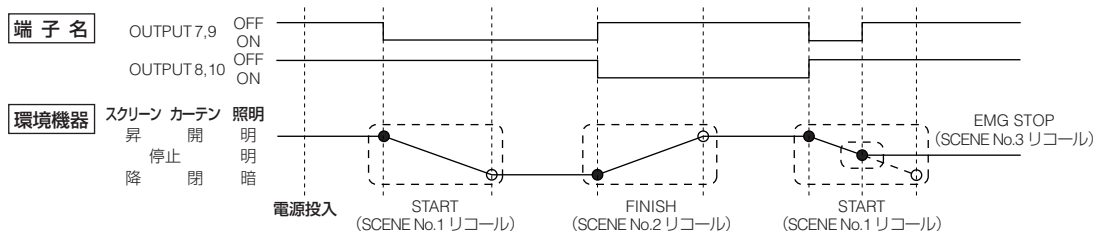
特注操作パネル

VHS VTR選択ボタン
書画カメラ選択ボタン
LINE4C入力選択ボタン
DVD選択ボタン
PC 1選択ボタン
PC 2選択ボタン
START（プレゼンテーション開始）ボタン
FINISH（プレゼンテーション終了）ボタン
緊急停止ボタン
マイク音量（10KΩ Bカーブ使用）
AV機器音量（10KΩ Bカーブ使用）
40mA以下
VHS VTR選択LED
DV VTR選択LED
書画カメラ選択LED
DVD選択LED
PC1選択LED
PC2選択LED
LED
DC24V以下

スクリーン降
スクリーン昇
スクリーン インターフェースBOX
カーテン閉
カーテン開
カーテン インターフェースBOX
照明　暗
照明　明
照明 インターフェースBOX

環境機器インターフェースBOXの仕様における注意点

- REMOTE PARALLEL出力端子はオルタネート動作のオープンコレクタ出力になります。よってシーンリコール等で環境機器の操作をおこなう場合、環境機器の動作状態に関係なく出力端子がONし続けますので、上げ止まり、下げ止まり時のモーター停止などはインターフェースBOXにておこなってください。
- EMG STOPをおこなうとOUTPUT7〜10の出力端子をOFFにします。出力端子OFFによりスクリーン、カーテンの動作を停止し、照明を明るくするようインターフェースBOXを製作してください。

シーンリコール操作による環境機器の制御例

工場出荷設定値

INPUT

項目			初期設定値
TRIM	MIC1 - MIC4		–50dBu
	MIC5/LINE1,MIC6/LINE2		+4dBu
	LINE3,LINE4A - 4F		0dBu
LCF	MIC1 - MIC4		ON
	MIC5/LINE1,MIC6/LINE2		OFF
PEQ			OFF
FR			OFF
COMP			SOFT
MUTING			OFF
GAIN LIMIT			+10dB
INPUT FADER			0dB
MIC1～MIC4 MIC5/LINE1, MIC6/LINE2 PEQ	FREQ	バンド1	63Hz
		バンド2	2.5kHz
		バンド3	20kHz
	Q	バンド1	1.0
		バンド2	1.5
		バンド3	0.47
	GAIN	バンド1～3	0dB
LINE3,LINE4 PEQ	FREQ	バンド1	63Hz
		バンド2	20kHz
	Q	バンド1	1.0
		バンド2	0.47
	GAIN	バンド1,2	0dB

AUTOMATIC MIXER SETUP

項目				初期設定値
AUTOMATIC MIXER	ON/OFF			ON
	DEFAULT/EDIT			DEFAULT
	INPUT	COMPRESSOR	THRESHOLD	–3dB
			RATIO	3 : 1
			ATTACK	22ms
			RELEASE	100ms
		GATE	THRESHOLD	–30dB
			HOLD	1000ms
			RELEASE	470ms
		NOM		OFF
		ONLY ONE		OFF
		LAST ON		OFF
		SELECT	MIC1-MIC6/LINE2	ON
	OUTPUT	LIMITER	THRESHOLD	+10dB
			ATTACK	0.47ms
			RELEASE	100ms
		SELECT	OUTPUT1-REC OUT2	ON

ROUTING

ROUTING				MIX LEVEL
MIC1/WL1			LINE OUT1,LINE OUT2	–20dB
			LINE OUT7,LINE OUT8,REC OUT1,REC OUT2	0dB
MIC2/WL2			LINE OUT1,LINE OUT2	–20dB
			LINE OUT7,LINE OUT8,REC OUT1,REC OUT2	0dB
MIC3			LINE OUT1,LINE OUT2	–20dB
			LINE OUT7,LINE OUT8,REC OUT1,REC OUT2	0dB
MIC4			LINE OUT1,LINE OUT2	–20dB
			LINE OUT7,LINE OUT8,REC OUT1,REC OUT2	0dB
MIC5/LINE1			LINE OUT1,REC OUT1	0dB
MIC6/LINE2			LINE OUT2,REC OUT2	0dB
LINE3		L	LINE OUT1	0dB
		R	LINE OUT2	0dB
LINE4	A·B·C·F	L	LINE OUT1,REC OUT1	0dB
		R	LINE OUT2,REC OUT2	0dB
	D·E	L	LINE OUT1,REC OUT1	0dB
		C	LINE OUT5	0dB
		R	LINE OUT2,REC OUT2	0dB
		SW	LINE OUT6	0dB
		LS	LINE OUT3	0dB
		RS	LINE OUT4	0dB
ROUTING				ATT LEVEL
SP OUT		CH1	LINE OUT1	–10dB
		CH2	LINE OUT2	–10dB

OUTPUT

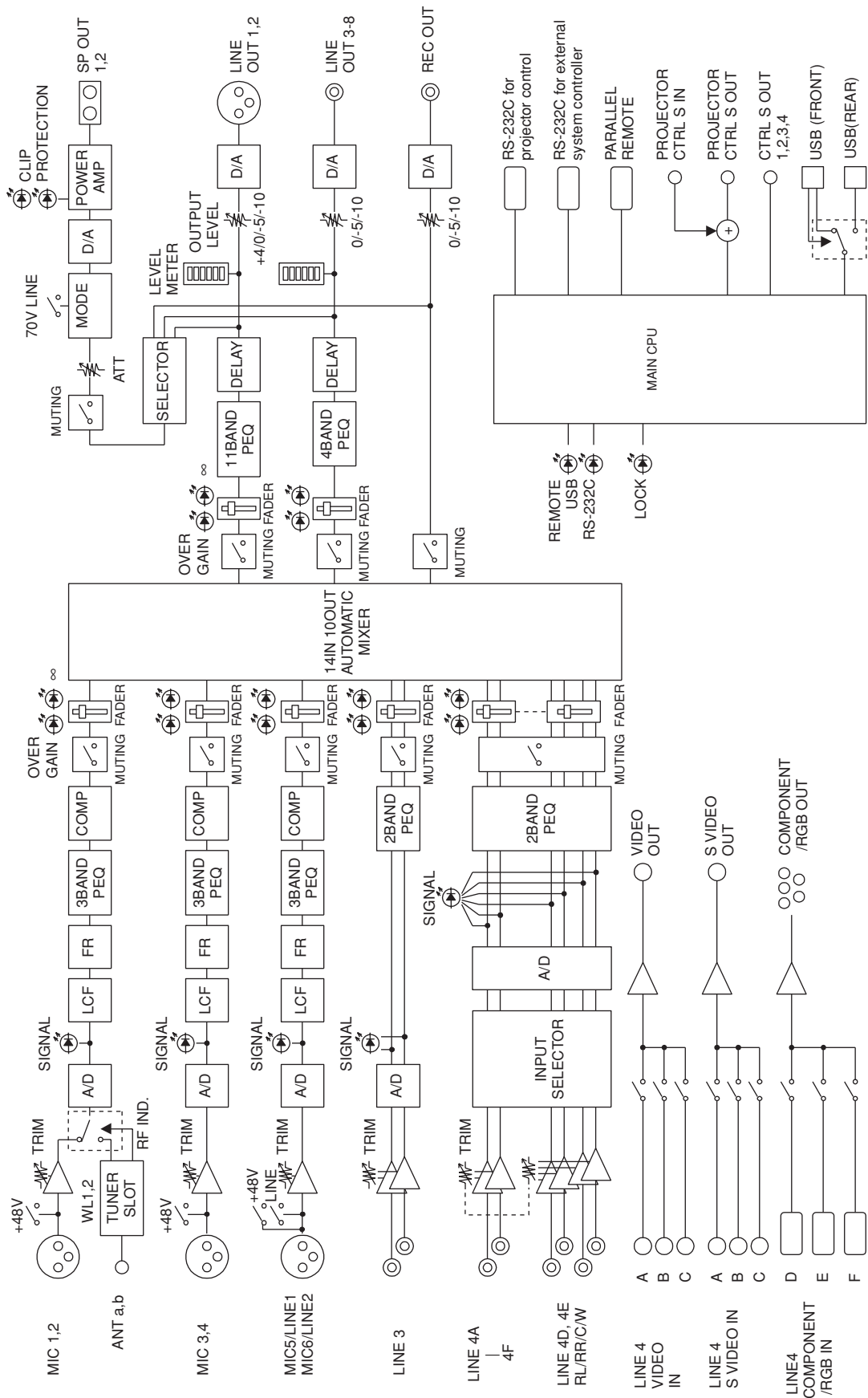
項目			初期設定値
REF LEVEL	OUTPUT1,OUTPUT2		+4dBu
	OUTPUT3 - OUTPUT8		–5dBu
	REC OUT1,REC OUT2		–5dBu
HCF			OFF
EQ			OFF
DELAY			0ms
MUTING			OFF
GAIN LIMIT			+10dB
OUTPUT FADER			0dB
OUTPUT1, OUTPUT2 EQ	FREQ	バンド1	25Hz
		バンド2	40Hz
		バンド3	80Hz
		バンド4	160Hz
		バンド5	315Hz
		バンド6	630Hz
		バンド7	1.25kHz
		バンド8	2.5kHz
		バンド9	5kHz
		バンド10	10kHz
		バンド11	20kHz
	Q	バンド1 - 11	1.5
	GAIN	バンド1 - 11	0dB
	HCF		OFF
OUTPUT3 - OUTPUT8 EQ	FREQ	バンド1	63Hz
		バンド2	250Hz
		バンド3	2.5kHz
		バンド4	20kHz
	Q	バンド1	1.0
		バンド2,3	1.5
		バンド4	0.47
	GAIN	バンド1 - 4	0dB
	HCF		OFF
SPEAKER OUTPUT	MODE		Lo Imp.
	SELECT	CH1	OUTPUT 1
		CH2	OUTPUT 2
	ATT	CH1	15dB
		CH2	15dB

REMOTE

項目			初期設定値
PARALLEL I/O	INPUT	INPUT1	AV SEL A
		INPUT2	AV SEL B
		INPUT3	AV SEL C
		INPUT4	AV SEL D
		INPUT5	AV SEL E
		INPUT6	AV SEL F
		INPUT7	RECALL 1
		INPUT8	RECALL 2
		INPUT9	RECALL 3
		INPUT10	LVL Master A
		INPUT11	LVL Master B
		INPUT12	NONE
	OUTPUT	OUTPUT1	AV SEL A
		OUTPUT2	AV SEL B
		OUTPUT3	AV SEL C
		OUTPUT4	AV SEL D
		OUTPUT5	AV SEL E
		OUTPUT6	AV SEL F
		OUTPUT7	RECALL 1
		OUTPUT8	RECALL 2
		OUTPUT9	RECALL 1
		OUTPUT10	RECALL 2
MACHINE CONTROL	LINE3	MACHINE TYPE	MD
		CTRL S OUTPUT CH	1
	LINE4A	MACHINE TYPE	VTR3(VHS)
		CTRL S OUTPUT CH	2
	LINE4B	MACHINE TYPE	NONE
		CTRL S OUTPUT CH	1
	LINE4C	MACHINE TYPE	NONE
		CTRL S OUTPUT CH	1
	LINE4D	MACHINE TYPE	DVD
		CTRL S OUTPUT CH	2
	LINE4E, LINE4F	MACHINE TYPE	NONE
		CTRL S OUTPUT CH	1
	CONNECTION TYPE	CH1	WIRED
		CH2	IR
		CH3	WIRED
		CH4	WIRED
PROJECTOR CONTROL	I/F TYPE		RS-232C
	PROJECTOR PROTOCOL		VPL-FX51/50
	REMOTE POWER ENABLE		ON
	INPUT VIDEO TYPE	LINE4A - LINE4C	VIDEO
		LINE4D	COMPONENT
		LINE4E,LINE4F	RGB

GROUP FADER

項目	初期設定値
MASTER A	MIC1/WL1,MIC2/WL2,MIC3,MIC4
MASTER B	MIC5/LINE1,MIC6/LINE2,LINE3,LINE4
REMOTE1 - REMOTE6	アサインなし

ブロックダイヤグラム

主な仕様

AUDIO入出力

入力	端子形状	回路	チャンネル	基準入力レベル	最大入力レベル	インピーダンス
MIC 1/WL 1, MIC 2/WL 2, MIC 3,MIC 4	XLR-3-31type*	平衡	モノラル	–60〜–45dBu	–37〜–22dBu	2.2kΩ以上
MIC 5/LINE 1 MIC 6/LINE 2	XLR-3-31type*	平衡	モノラル	–60〜–45dBu –10〜+4dBu	–37〜–22dBu +10〜+24dBu	2.2kΩ以上(MIC時) 10kΩ以上(LINE時)
LINE 3	ピン	不平衡	ステレオ	–10〜0dBu	+10dBu	10kΩ以上
LINE 4 (A B C F)	ピン	不平衡	ステレオ	–10〜0dBu	+10dBu	10kΩ以上
LINE 4 (D E)	ピン	不平衡	ステレオ/5.1サラウンド	–10〜0dBu	+10dBu	10kΩ以上
出力	**端子形状**	**回路**	**チャンネル**	**基準出力レベル**	**最大出力レベル**	**負荷インピーダンス**
LINE OUT 1-2	XLR-3-32type*	平衡	モノラル	–10/–5/0/+4dBu	+24dBu	600Ω以上
LINE OUT 3-8	ピン	不平衡	モノラル	–10/–5/0dBu	+15dBu	10kΩ以上
REC OUT 1-2	ピン	不平衡	モノラル	–10/–5/0dBu	+15dBu	10kΩ以上

＊ 1番ピン：GND　2番ピン：HOT　3番ピン：COLD

SPEAKER出力

出力	端子形状	インピーダンス	最大出力
CH 1	ネジ式ターミナル	4Ω〜16Ω	150W+150W(8Ω, JEITA) 200W+200W(4Ω, JEITA)
CH 2		4Ω〜16Ω	
70V LINE		32Ω〜10kΩ	150W(32Ω, JEITA)

ATT0dB時、出力信号レベル0VUで150W+150W(8Ω)出力

VIDEO/RGB入出力

入力	端子形状	信号形式	レベル	インピーダンス
LINE 4 (A B C)	ピン	Composite	1Vp-p(75Ω)	75Ω
	MINI Din	Y/C	1Vp-p(Y)/0.286Vp-p(C)	75Ω
LINE 4 (D E F)	HD D-sub 15-pin	Component / RGB	0.7Vp-p(映像信号) 1〜5V(同期信号)	75Ω(映像信号) 47kΩ(同期信号入力)
出力	**端子形状**	**信号形式**	**レベル**	**インピーダンス**
R/R-Y,G/Y,B/B-Y, SYNC/HD,VD	BNC	Component / RGB	0.7Vp-p(映像信号) 1〜5V(同期信号)	75Ω(映像信号) 47kΩ(同期信号入力)
S VIDEO	MINI Din	Y/C	1Vp-p(Y)/0.286Vp-p(C)	75Ω
VIDEO	BNC	Composite	1Vp-p	75Ω

AUDIO

周波数特性　20Hz〜20kHz±0.5dB
(LINE OUT、1kHz基準)

全高調波歪み率　0.01%以下 (LINE OUT、1kHz)

S/N比　94dB以上 (LINE 3、LINE 4、IHF-A)

クロストーク　–85dB以下
(LINE、Ch間、1kHz、入力ショート)

入力換算雑音レベル　–124dBu以下
(–60dBu、入力150Ω終端、IHF-A)

0dBu = 0.775V

VIDEO/S VIDEO

周波数特性　50Hz〜10MHz

COMPONENT/RGB

周波数特性　50Hz〜150MHz
480p、1080i、
1280×1024 60Hz (SXGA) 対応

REMOTE

PROJECTOR CONTROL
- RS-232C　D-sub 9ピン(凸)
- CONTROL S IN/OUT　ミニジャック

REMOTE
- PARALLEL I/O　D-sub 25ピン(凹)
  - IN　メーク接点入力
    Logic : C-MOS LEVEL アクティブL
    入力パルス幅 : 100msec以上
  - OUT　オープンコレクタ出力
    耐電圧 : +24V以下
    最大シンク電流 : 40mA
- RS-232C　D-sub 9ピン(凸)
- USB(フロント/リア)　TYPE-B

その他

ANT IN端子　BNC　DC+9Vを給電

+48V電源　MIC1〜6 XLR端子へ給電
(MIC1〜4は+48VボタンがON時、
MIC5, 6はMICレベル設定時のみ)

一般

電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	230W
外形寸法	482×132×350mm（幅／高さ／奥行き） 突起部含まず
質量	約13kg
動作温度	0℃～40℃
保存温度	–20℃～60℃
付属品	電源コード（1）、フット（4）、CD-ROM（1）、 取扱説明書（1）、 WRU-806チャンネル設定方法（1）、保証書（1）、 ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内（1）

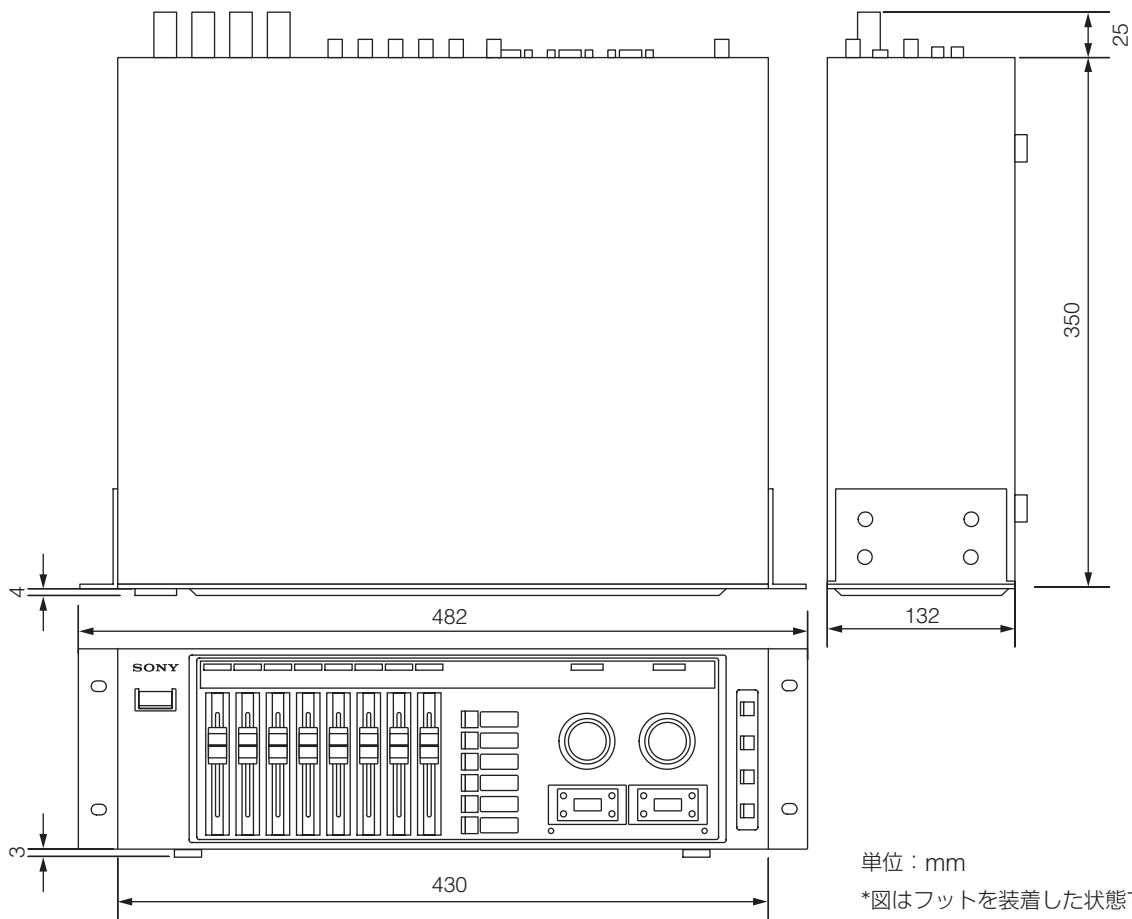
別売アクセサリー
UHFアンテナ AN-820
UHFシンセサイザーチューナーユニット WRU-806
AVマウス（赤外線発光ユニット）VM-50

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

携帯通信機器による電磁波障害を防止するために
携帯電話などの通信機器を本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは、携帯通信機器の電源はできるだけ切ってください。

寸法図

単位：mm
*図はフットを装着した状態です。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に下記の項目をもう1度チェックしてみてください。それでも具合の悪いときは、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

付属のソフトウェア SRP-X700P Managerを起動して本体の設定を確認してください。それでも解決できないときは以下の項目をチェックしてください。

症状	原因/対処
電源が入らない	・電源コードが抜けている。 → 電源コードをAC IN端子とコンセントに奥までしっかり差し込んでください。
音が出ない	・インプットフェーダーが下がっている。 → インプットフェーダーを上げてください。 ・マスターボリュームが下がっている。 → マスターボリュームを上げてください。 ・ROUTINGの設定が適切でない。 → SRP-X700P Managerで正しく設定してください。
マイクの音が出ない	・MIC/LINE切り換えボタンがLINEになっている。 → MIC/LINE切り換えボタンをMICにしてください。
音が歪む	・MIC5/LINE1 IN, MIC6/LINE2 IN端子にLINE機器を接続してMIC/LINE切り換えボタンがMICになっている。 → MIC/LINE切り換えボタンをLINEにしてください。
映像が出ない	・映像入力信号の設定が適切でない。 → 映像入力信号を正しく設定し直してください。
RS-232Cで本機をコントロールできない	・ケーブルの結線方法が本機の仕様に合っていない。 ・RS-232Cの各パラメーター設定が本機の仕様に合っていない。 →「REMOTE RS-232C端子」(10ページ)に従って接続してください。
PROTECTIONインジケーターが点灯している	・故障によりDC(直流電圧)がSPEAKER端子に現れた場合。 → POWER(電源)ボタンをOFFにしてください。 ・アンプ内部の放熱器の温度が規定値を超えた場合。 接続したスピーカーのインピーダンスが低すぎる。 → POWER(電源)ボタンをOFFにして、適正なインピーダンスのスピーカーに接続し直してください。 空気吸排気孔(本機左右側面)がほこりによりふさがれている。 → 掃除機などでほこりを取り除いてください。 ・SPEAKER端子がショートしている。 → POWER(電源)ボタンをOFFにして、ショートの原因を取り除いてください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを→

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは→

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるお近くのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は→

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は→

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：SRP-X700P
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：